

# 大学の世界展開力強化事業 構想概要 立命館大学

## 【構想の名称】(タイプA-1)

東アジア次世代人文学リーダー養成のための、日中韓共同運営トライアングルキャンパス

## 【構想の概要】

平成15年以降築いてきた**広東外語外貿大学(広州)**、**東西大学校(釜山)**とのネットワークを基に、日中韓を2年間巡回する**移動型キャンパス**を核とし、ショートステイ、インターンシップ、遠隔講義システムを利用した4年間(+修士複数学位)のカリキュラムを共同で運営。各国で選抜されるパイロット学生を中心に、人材育成目的に応じた各国の言語・文化等に関わる科目を相互に提供し、単位互換をおこない、**東アジア次世代リーダーを養成**する。さらに本事業により新たなアジアにおける多国間連携型高等教育モデルとネットワーク(人材バンク)を構築する。

## ■ プログラムの目的・養成する人材像



日中韓の言語に通じ、その文化・文学・歴史等に深い理解力を有するとともに、そこに横たわる諸問題を人文学的知見から洞察・分析して具体的な解決を図り、日中韓を舞台とする企業・公共機関・教育研究機関・NPO等で実践的に活躍できる**東アジア次世代リーダー**を養成する。  
**日中韓のネットワーク形成の先頭にたつ文化交流・教育研究分野での国際的リーダーの育成を目指す。**



## ■ 質の保証を伴った大学間交流の枠組形成

### ○ 三大学基準の設定

三大学教職員会議を開催して、相互に提供する科目のシラバスを準備し、出席管理、成績基準や単位互換基準、学位授与プロセスを定める。特に学位授与にあたっては、「卒業論文」「口頭試問」「卒業試験」などの要件化をはかる。

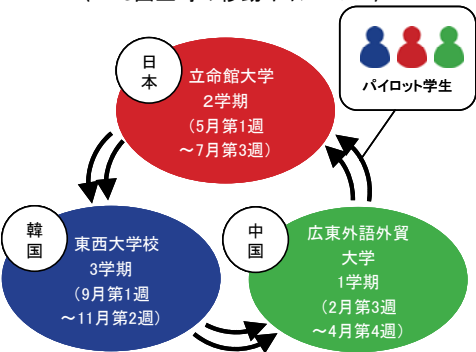
### ○ わかりやすい学びの道筋の提示

履修方法や履修モデルを解説した「日中韓教学の手引き(学びの道筋)」を作成し、履修相談も充実する。

### ○ 学びの質を向上する仕組みの導入

受講生と双方向のやりとりを実現するコミュニケーションペーパーや授業アンケートを導入すると共に、試験結果の講評と成績確認制度、「学びの実態調査(アンケート)」、三大学相互授業参観(FD)を実施する。

〈2~3年生時の移動キャンパス〉



## ■ 教育内容の可視化・成果の普及

### 教育内容の可視化

**カリキュラム・シラバスの公開**  
**授業アンケート・試験講評の実施**

### 成果の普及

**三カ国語で発信されるHP:** 事業報告や、遠隔講義、ショートステイ・公開シンポジウムなどイベントの成果を発信。  
**リーダーズフォーラム:** 修了者・履修者を中心に企業・自治体など広く一般を対象にした研究発表を開催。  
**人材バンク:** 日中韓の人文学的見知や言語に傑出した能力を持つ人材と社会をつなぐ。

## ■ 日本人学生の派遣・留学生の受入を促進するための環境整備

### ○ 相談体制・就職支援の充実

移動キャンパス中にも各受入校で相談窓口を用意すると共に、立命館の学生は広州、韓国の事務所も利用できる。就職についても指導・相談やインターンシップを充実させる。

### ○ 日中韓共同研究室の開室

パイロット学生だけでなく、日中韓に関心を寄せる学生も集まり、三カ国の学生がランゲージエクステンションにとどまらない相互に学ぶコミュニティーを形成する。国境を越えたTV会議システムの自主利用や、各国語の各種文献・書籍の閲覧、ディスカッションの開催などができる場を提供することで留学へのハードルを下げ、留学中にも自国とつながることで不安を低減する。

## ■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

### ○ 日本人学生の派遣

1年生の夏期休暇に、中国・韓国の学生と共にお互いの大学を訪問し、2~3年生時には移動キャンパスとして毎年各大学で3か月間ずつ学ぶ。毎年春には中国または韓国でショートステイを実施する。

### ○ 外国人留学生の受入れ

毎夏、中国・韓国から受け入れる。また移動キャンパスの受入れも実施する。

	H23	H24	H25	H26	H27
学生の派遣	20	50	30	30	30
学生の受入	0	80	65	65	55